



2020年度 学校経営・運営ビジョン 福島県立視覚支援学校

学校教育目標

視覚障がいにより生じた困難を克服し、社会の変化に主体的に対応できる確かな学力を身に付け、積極的に生きていく豊かな心と健やかな体を持つ調和のとれた人間を育成する。

- 自ら学び・考え・行動する人間
- お互いを尊重し、思いやることのできる人間
- 健康でたくましく明るい人間

共に歩み続ける学校をめざして

福島県立視覚支援学校長 橋本 淳一

「たい」のある学校をめざす2年目の学校経営・運営ビジョンです。昨年度新たなビジョンを示し学校経営を行った結果、今年度8年ぶりに児童生徒数が増加しました。視覚支援学校を知っていただく機会が増え、それと共に保護者の皆様方からも本校を就学先として選んでいただけただことに矜持を保ってその期待に応えることができるよう、新たな学習指導要領に沿った形で支援・指導をさらに進めていかななくてはならないと、全職員が改めて強く感じています。

加えて、教職員としての情熱を持ち続けながらも児童生徒の人権を尊重し、公務員として不祥事の根絶にも努めます。今後も“子どもと保護者、そして地域と共に歩んでいく視覚支援学校”であり続けますので、皆様方のご理解とご支援をお願いいたします。

2020年度 重点目標

1. 乳幼児の適切な環境を整え望ましい成長発達を促すため視覚障がいの特性に応じた支援や援助を行うとともに、保護者に対しては教育に関する情報の提供や障がいに対する不安の解消に努めるなどして、早期教育の推進を図ります。
2. 児童生徒一人一人の可能性を伸ばし発達や成長につなぐ視点で資質や能力を育成するよう、個に応じた指導の一層の充実を図ります。

行きたい学校

○一人一人の自己実現を図るために必要な学力の向上を目指し、障がいの特性等を配慮した「わかる授業」の実践に努めます。

1. 小・中・高等部においては、新学習指導要領の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、授業の工夫や改善に努め、アクティブラーニング(能動的学び)を推進します。＜国語科や各教科の言語活動、社会科における課題解決活動、重複障がい課程では体験的な活動を行うなど、質の高い授業の実践に努めます。＞

2. 理療科においては、あはき師として人々の健康の保持増進に努め、活力ある社会の創造に寄与する知識・技能・態度を育成します。

行かせたい学校

○発達段階や障がいの状態等に応じて、健康で安全な生活を営む姿勢を育くみ、家庭と協力しながら自立に向けた能力の向上をめざします。

1. 保護者と学校が協力と確認を続けながら、個別の教育支援計画や個別の指導計画を生かした指導や支援を実践します。

2. 児童生徒が今後、社会で生きるための力を醸成するため、健康、安全、食に関する指導を推進します。

3. 将来の自立に向けた力を育むため、家庭との連携を密にしながら、寄宿舎におけるきめ細かな生活指導に努めます。

頼りたい学校

○地域との協働を重視し、学校のみならず様々な団体等との交流および共同学習を推進するとともに、理解啓発活動を積極的に行います。

1. 地域支援センターの役割を十分発揮し、視覚障がい有者の方とその家族に対し、自立と社会参加のための支援を行います。

2. 現代におけるグローバル化の中で多様性を尊重する態度を養うとともに、交流および共同学習や体験活動を積極的に推進します。

3. 視覚支援学校における教育活動を多くの方々に周知していただくために、地域に幅広くアピールする機会を更に充実させます。